

レガシーシステム刷新ソリューション「マイグレーション2.0」

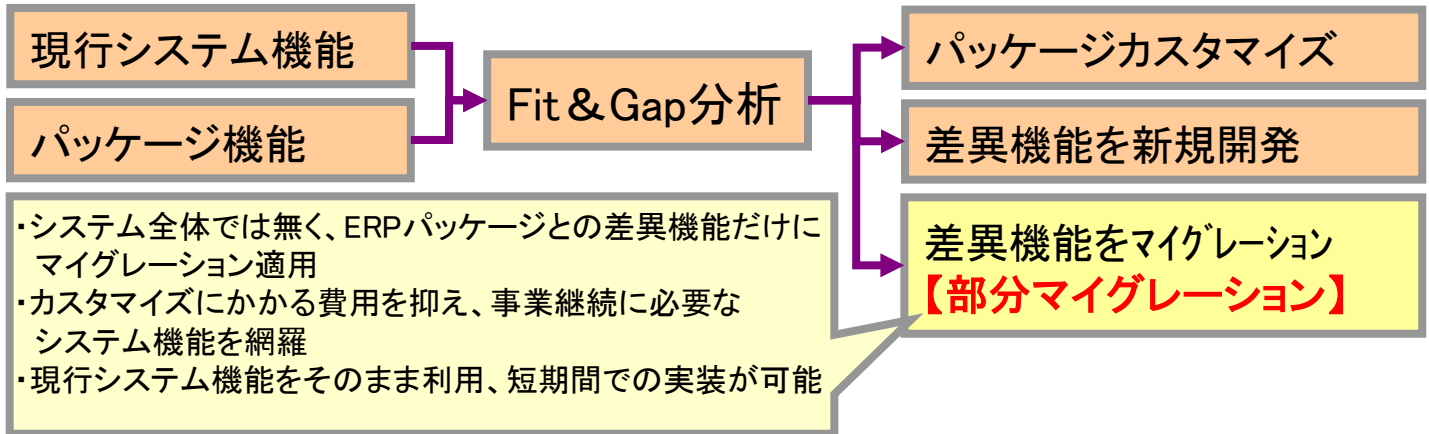
# ERP導入補完型 部分マイグレーション

## システム再構築でERP導入時の課題解決

ERP導入時の開発コスト抑制のため、部分的な既存システム資産を活用!

■ レガシーシステム再構築に際し、ERP導入を選択した場合、標準的なパッケージ機能で実現できない業務・機能の実装方法の検討が必要

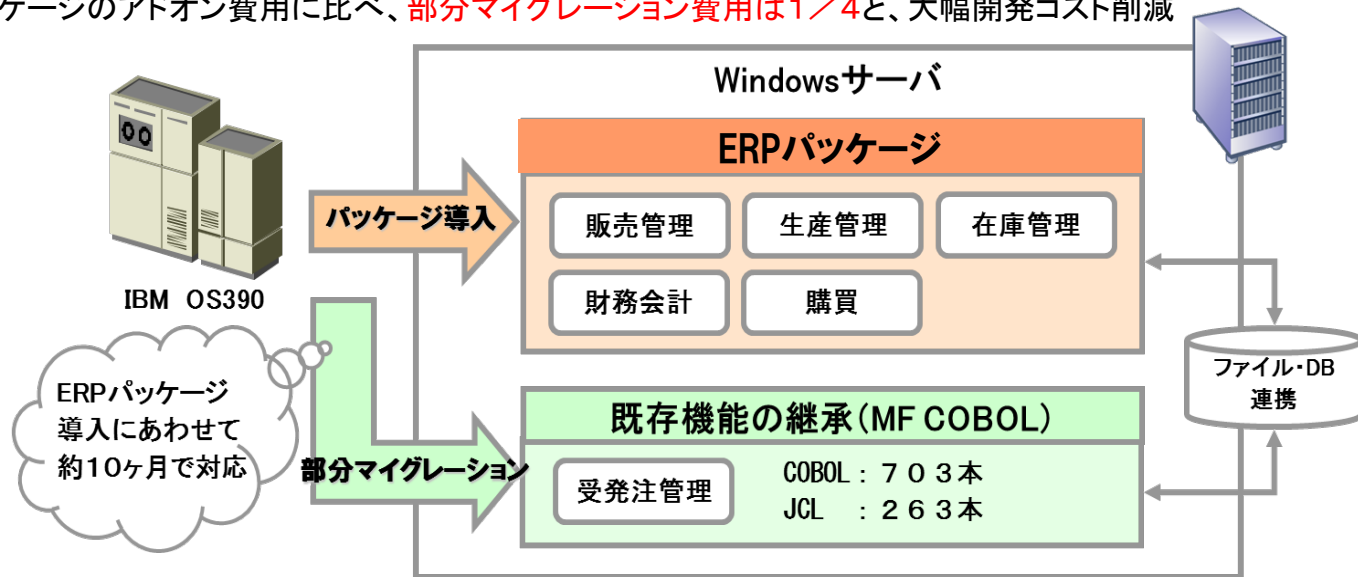
- ◆ ERP初期導入時のカスタマイズや、パッケージバージョンアップ時のコスト増への対応を検討!
- ◆ 現行システム機能を再利用し、部分的にマイグレーション技術を採用し、開発コストの大幅削減を実現



## ERP導入時の『部分マイグレーション』適用による開発コスト削減事例(某製造業様)

■ お客様が受発注管理機能を「ERP化」対象外とした理由

- ◆ 自動車メーカー毎の独自機能であり、ERP導入時にカスタマイズが必須
- ◆ プログラムの改造、修正が煩雑に発生するため、保守の容易性が求められる(既存の構成を残す)
- ◆ ERPパッケージのアドオン費用に比べ、部分マイグレーション費用は1/4と、大幅開発コスト削減



[資料請求とお問い合わせ]

株式会社 システムズ マイグレーション事業本部

東京都品川区西五反田7-24-5 西五反田102ビル8F TEL 03-3493-0032 FAX 03-3493-2033  
URL <http://www.migration.jp/> E-mail: [migration@systems-inc.co.jp](mailto:migration@systems-inc.co.jp)

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。  
●本紙に掲載されている内容は、2013年10月現在のものです。また、内容は改善のため予告なく変更することがあります。